

☆メールマガジン「本はともだち～山口県子ども読書支援センターニュース」配信中！

メールマガジン「本はともだち」は、新刊紹介や県内の行事など、より充実した内容で配信中です。読者登録の方法は県立図書館のホームページをご覧ください。

【山口県子ども読書支援センター行事】

★「幼児のためのおはなし会」（毎月第一火曜日）はしばらくの間、中止させていただきます。

★「おうちでおはなしかい」（10月）

おうちでおはなし会をはじめよう！ちっちゃいおともだち、あつまれ！当館でのおはなし会ができない間、ホームページ上でおはなし会のプログラムと関連する絵本の紹介をします。ご家庭でおはなし会をどうぞ。紹介した本は、「あかちゃん絵本」コーナーで展示しています。[http://library.pref.yamaguchi.lg.jp/kodomocenter/ohanashikai\\_web\\_202010](http://library.pref.yamaguchi.lg.jp/kodomocenter/ohanashikai_web_202010)

★「令和2年度 第1回子どもの読書セミナー」

○会場：山口県立山口図書館 レクチャールーム ○日時：11月28日（土） 14：00～15：30

○内容：【講義】「子どもは、どんな絵本が好きなの？！～絵本を通して、子供の私を発見する～」

○講師：横山眞佐子 氏（児童書専門店「こどもの広場」代表）

○定員：60名（要申込み、先着順） ○受講料：無料

○対象：県内の子ども読書ボランティア、公共図書館職員、学校図書館関係者、幼稚園教諭、保育士等

○申込方法：11月20日（金）までに、別紙、参加申込書により、FAX、電子メール又は電話で

◎申込み、連絡先：山口県子ども読書支援センター（電話：083-924-2111 FAX：083-932-2817 Eメール：a50401@pref.yamaguchi.lg.jp）

【新刊紹介】 価格は消費税抜き

＜絵本—乳幼児から＞

『かぼちゃのたいおう』 おおいじゅんこ/作 ほるぷ出版 2020.8 ¥980

「かぼちゃかぼちゃかぼちゃのたいおう」かぼちゃをかぶっているのはだあれ？黒い手足におなかだけ白い毛、長いしっぽの…にやあにやあ、ねこさんでした！お次は、全身白くて足のない…ひゅううう～おまげさんでした！さあ、かぼちゃをかぶっているのはだあれ？誰がかぶっているか当てっこしながら親子で楽しめる、ハロウィンにぴったりの縦開きの赤ちゃん絵本。

＜絵本—3, 4歳から＞

『あ』 たにかわしゅんたろう/ぶん ひろせげん/え アリス館 2020.9 ¥1200

ひとりぼっちで寂しそうな「あ」。そこへ「お」がやってきて、青空の「あお！」。どこかへ行きたい「あ」には、おととつと「し」だよ。「あし」ができたから、どこへでも行けるね！「あ」との組み合わせでできるのは…？活字風の手書き文字が、ページいっぱいにおどる。やさしい文字の組み合わせと、それを表す絵でイメージが広がる幼児から楽しめる言葉遊び絵本。

『どこちゃん』 鈴木のりたけ/作・絵 PHP研究所 2020.8 ¥1200

どこちゃんのどこが変わったのでしょうか？ピンクのボーダーシャツを着たどこちゃん。次のページで、どこかが変わっているよ。わかるかな？あ、頭にピンクのリボンがついている！さあ次はどこが変わったのでしょうか？ページをめくると、洋服や髪型が変わっていたり、表情が変わっていたり…。どこが変わったかみんなでみつけてみよう！幼児から楽しめるさがし絵本。

＜絵本—5, 6歳から＞

『つるかめつるかめ』 中脇初枝/文 あずみ虫/絵 あすなろ書房 2020.8 ¥1200

「つるかめつるかめ」は嫌な気持ちをはきとばす縁起直しのおまじない。「まじやらくまじやらく」は、地震の時に唱えると地震がおさまるといっておまじない。「そみんしょうらいのしそんなり」は病気除けのおまじない。自分の力ではどうしようもないことがあった時、昔の人はおまじないを唱えてきた。私たちを励まし勇気づけてくれる、いろいろなおまじないを紹介した絵本。

『ねこはるすばん』 町田尚子/作 ほるぷ出版 2020.9 ¥1500

人間が出かけて行き、猫は留守番かと思いきや、タンスの奥の秘密の場所から猫の街へ繰り出す。まずはコーヒーショップで一服。猫舌だからフーフー。美容室でみだしなみをととのえたら、本屋へ行ったり、映画館で映画を楽しんだり、回転寿司で中トロを食べたり…。今日という日を満喫した猫はおうちに帰り、キラキラした目で飼い主を迎える。猫の裏の生活を楽しく描いた絵本。

＜絵本—小学校低学年から＞

『梨の子ペリーナ』 イタロ・カルヴィーノ/再話 関口英子/訳 酒井駒子/絵 BL出版 2020.9 ¥1600

王様の台所で働くペリーナは、心優しく賢い女の子。宮殿にはペリーナと同じ年頃の王子様がおり、二人は仲良くなる。ところがそんな二人に、他の召使いたちがやきもちをやくようになり、意地悪ををはじめ、ありもしない噂話を流す。その噂を聞きつけた王様から、魔女の宝物を持って帰るまで宮殿に入れないと言われたペリーナは…。幻想的な絵が美しいイタリアの昔話絵本。

＜絵本—小学校中学年から＞

『あるヘラジカの物語』 星野道夫/原案 鈴木まもる/絵と文 あすなろ書房 2020.9 ¥1500

アラスカのデナリの山のふもとに、大きなオスのヘラジカがたくさんメスと暮らしていた。ある日この群れに、見知らぬオスが近づいてきて、二頭のオスの闘いが始まった。何度も体当たりをし、激しく角をぶつけあううちに、どうとう大きな角と角がからまってはずれなくなってしまう。そこへ様子をうかがっていたオオカミが現れ…。大自然に生きる動物たちの営みと生命の繋がりの物語。

＜読み物—小学校低学年から＞

『めいたんていサムくん』 那須正幹/作 はたこうしろう/絵 童心社 2020.9 ¥1100

朝登校すると、タケシは、自分とトモキとショウゴの上靴が無いと騒ぎ出す。その場に居合わせた小2のサムくんは、空色のタオルハンカチを取り出し、鼻のそばへ。その匂いをかぎながら、三人の共通点を探り、見事になくなった上靴の謎を解き明かす。サムくんは、公園で消えた人形のなどを解いたり、のらイヌの飼い主を見つけたり。山口県在住の作家による最新作。

『山のトントン』 やえがしなおこ/作 松成真理子/絵 講談社 2020.9 ¥1250

くまの子トントンとお兄ちゃんは、お母さんの手作りドーナツの取り合いで大げんか。そこへちょうど畑仕事から帰ってきたお父さんに、家から追い出されてしまう。仕方なく山で夜を過ごす覚悟を決め、寝床を用意した二人だったが…。『くまの子トントン』「トントンのいもほり」の2編。一人読みに移行する子どもたちにおくる「どうわがいっぱい」シリーズ。

<読み物—小学校中学年から>

『神様のパッチワーク』 山本悦子/作 佐藤真紀子/絵 ポプラ社 2020.9 ¥1300

小4のおれと小6のお姉ちゃん、お父ちゃんとお母ちゃんがうちの家族。でもおれにもお姉ちゃんにも生んでくれたもう一人のお母さんがいる。おれたちが「特別養子縁組」で家族になった事はみんなが知っていて隠すことなく暮らしている。ある時一人の子がおれのことを「不幸な生い立ち」だと気づってくれた。おれってかわいいそうなの？家族の大切なものは何かを考えさせてくれる作品。

<読み物—小学校高学年から>

『父さんのことば』 パトリシア・マクラクラン/作 若林千鶴/訳 石田享子/絵 リーブル 2020.8 ¥1300

突然の自動車事故で亡くなった父さん。残された息子のフィンは、深い悲しみに暮れ、話をしなくなったが、ドッグシェルターでの保護犬エマとの出会いにより心を落ち着かせることができるようになった。娘のフィオナは、父さんと関わり合った人々と共に、父さんの残した言葉や思い出を集めるうちに、前を向いて進めるようになる。失ったものや希望を取り戻すまでを丁寧に描く作品。

<読み物—中学生から>

『団地のコトリ』 八東澄子/著 ポプラ社 2020.8 ¥1400

父を亡くし、団地で母と二人暮らしの美月。ある日、逃げ出したインコを追いかけている時、階下の独居老人の部屋に女の子の気配を感じて…。学校生活での悩みと、貧困、母子家庭、独居老人、ネグレクト、いじめなどの現代社会の問題を、中学生の少女の視点から描く。ある種の呪縛や束縛を受けている複数の「コトリちゃん」たちが、それぞれの束縛から解放されていく物語。

『キャラメル色のわたし』 シャロン・M ドレイパー/作 横山和江/訳 鈴木出版 2020.8 ¥1600

黒人のパパと白人のママはわたしのことをすごく愛してくれている。でも二人の関係は最悪。11歳のわたしは、離婚した二人の契約で毎週二人の家を行き来しなくては行けない。自分の居場所やアイデンティティに悩む日々の中、得意なピアノの演奏会に向けて猛練習。演奏会当日、義理の兄に送ってもらう途中、警官に銃を向けられ…。アメリカの黒人差別問題を少女の視点から描く。

<ノンフィクション—小学校低学年から>

『どうなってるの?どうぶつの歯 海の生きもの編』 鈴木勝・鈴木貴博/さく 吉田葉子/え はる書房 2020.9 ¥900

アシカの歯はとがった三角の形をしていて全部で34本。歯が黒いのは、えさの魚の油が歯にくっつくから。ラッコの歯はとても硬くて、その硬さはヒトの歯の2倍から3倍。貝やウニの硬いカラをこじ開けられるようにね。歯の検診に来た男の子が博士と一緒に、動物の歯の形や本数、特長のある歯のはたらきを探る。歯科医師による、動物の歯を通して歯の役割や大切さを学ぶ本。

<ノンフィクション—小学校中学年から>

『知ってる?アップサイクル』 「知ってる?アップサイクル」編集委員会/編 さ・え・ら書房 2020.3 ¥2500

いらなくなった物をもう一度材料に戻して使うのがリサイクル。アップサイクルとは、いらなくなった物をそのままの形で新たな価値のあるものに作りかえる、もう一つのリサイクルのこと。アップサイクルで、世界に一つしかない作品を作ることで、資源を大切に、自然環境を守ることに繋がるよ。『アップサイクルってなに?』『アップサイクルをやってみよう!』の全2巻。

<ノンフィクション—小学校高学年から>

『地球村の子どもたち 途上国から見たSDGs 格差』 石井光太/著 少年写真新聞社 2020.9 ¥2200

よその国の子どもたちが、絶対的貧困のために死んでいく原因の一つが自分たちの生活にあるとしたら、何もしないでいるのは正しいことなのか?児童労働や、ストリートチルドレンなどの格差の問題と、貧困を減らすための活動、わたしたちにできること等を紹介。困難な状況にある「世界」をよりよくするための目標や行動を考えるきっかけとなるシリーズ。

<ノンフィクション—中学生から>

『少女のための海外の話』 三砂ちづる/著 ミツイパブリッシング 2020.8 ¥1700

豊富な海外経験をもつ女子大教授が、留学や海外で働く夢をもつ人に向けて、海外で大切なこと、役に立つ持ち物、外国語の学び方、国際協力など、自分の失敗談や裏話など体験に基づいてエッセイ風に語る。自身もブラジル人と結婚し、息子たちを育てる経験の中で考えたこと、22歳の初めての海外から現在までの海外体験など、具体的な話が満載。著者は山口県生まれ。

<研究書>

『もっとある!学校図書館の司書が選ぶ小中高生におすすめの本220』 東京・学校図書館スタンプラリー実行委員会/編著 ペリカン社 2020.8 ¥1600

どんな本を読んだらいいかわからないというティーンズに、最近出版された本を中心に、学校司書が選りすぐりの本を分類番号順で紹介。キャッチコピーを見て面白そうと思ったら、紹介文を読んでみよう。2017年から2019年の3年間に東京・学校図書館スタンプラリーで配布した冊子をまとめたもの。東京都内の学校司書によるブックガイド第2弾。「なるにはBOOKS 別巻」。

※【新刊紹介】の本は、県立図書館で現在受入準備中の本です。そのため、県立図書館の蔵書検索(OPAC)では検索できませんが、利用することは可能です。閲覧、貸出等を希望される方は、お問い合わせください。

【県内の動き】

★ほうふとしよかん「クリスマスおはなし会」

- 会場：防府市立防府図書館 研修室 ○日時：令和2年12月20日(日) 14:30～ ○受講料：無料
- 内容：絵本の読み聞かせ、手遊び、紙芝居、パネルシアター、簡単な工作など
- 対象：幼児から小学校低学年くらいまでの子供とその保護者 ○定員：15名程度(要申込み、先着順)
- 申込み：氏名、電話番号を、来館か電話にて(受付開始日：11月29日 9:30)
- 照会先：防府市立防府図書館(TEL:0835-22-0780)